※令和４年度以降入学生用

学校番号	３１３

令和８年度　芸術科（書道Ⅱ）

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「書道Ⅱ」（教育出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

書道Ⅰで学習したことをより深く、より幅広く進めていきます。

２　学習の到達目標

普段見慣れない書体を通して書に対する幅を広げ、作品作りの応用が利くようになる。
・書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てる。
・感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な技能を身につけ、表している。
・書の伝統と文化について理解を深め、主体的に活動に取り組もうとしている。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解する心情を身につける。 ・創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身につけ表現している。	書の良さや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	篆書の学習	・篆書の臨書	a:篆書の技能を身につける。 b:篆書の表現を理解する。 c:主体的に鑑賞や活動に取り組む。	提出作品	提出作品	観察 提出作品
	隷書、草書の学習	・隷書の臨書 ・草書の臨書	a:隷書、草書の技能を身につける。 b:隷書、草書の表現を理解する。 c:主体的に鑑賞や活動に取り組む。	提出作品	提出作品	観察 提出作品
二学期	作品制作	・コンクール作品制作 ・半切による作品制作 ・篆刻の学習(姓名印、四字、五字程度)	a:自分の表現にあった技能を身につける。 b:自分の表現にあった古典を探す。 c:主体的に鑑賞や活動に取り組む。	提出作品	提出作品	観察 提出作品
	刻字の学習	・彩玉ボードによる作品制作	a:刻字の技能を身につける。 b:刻字の表現を理解する。 c:主体的に鑑賞や活動に取り組む。	提出作品	提出作品	観察 提出作品
三学期	作品制作	・書初め ・漢字かな交じりの書	a:作品制作に効果的な技能を身につける。 b:作品制作の表現や構成を工夫する。 c:主体的に鑑賞や活動に取り組む。	提出作品	提出作品	観察 提出作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度